



浄恩寺 雅楽葬 検索

浄恩寺同朋会報

電話 052-881-8474

新年そうそう

新年そうそう母親と同年、昭和五年生まれのお二人の御葬儀を勤めました。

みなさんご近所、買い物で出会うと、長い長い立ち話、小一時間話す風景が目につかびます。こんな風景、最近は見られなくなりまして。コロナ感染が拡大してからは特に・・・

午年生まれ、今年九十二歳。

入所中の母親も、一月半ば突然高熱と嘔吐で緊急入院しました。当然、オミクロンが疑われ、PCR検査を二回行いましたが陰性。肺炎検査、細菌検査、血液検査、レントゲン検査、(二)検査・しかし、原因不明で、熱も上がったり下がったりです。食事は全介助で食べられる状況ですが、集中力が継続できません。一言で言うなら「老衰」の状況。医師は告げにくそうでしたので、私が言葉を発しました。

退院して、施設に戻ることを希望しましたが、点滴を継続しないと命が繋げない。点滴は特別養護老人ホームではできない、転院先の受け入れを待つことになりましたが、容体は悪化しつづありませす。

胃瘻(いろいろ)や鼻からの栄養点滴という選択肢もありましたが、本人を苦しめることになりかねません。自然のまま・という選択を選びました。

また、母親が入院した日に、オミクロン感染で亡くなられた門徒さんもみえました。老舗の特別養護老人ホーム。家族に告げられた言葉は、「コロナ陽性で心肺停止になられました。」

困られたご家族からすぐに連絡がありましたので、某葬儀社のコロナ対応に連絡。コロナ死亡者を収容する施設に搬送する直前、防護服を着てお顔を拝見することができたそうです。

その後二日安置後、名古屋市立第二斎場、十五時三十分に火葬され、翌日お骨がご自宅に帰ることができました。そして四日後、お寺にて「骨葬」を勤めました。

南無阿弥陀仏

「昭和初期の遺産」

「仏壇じまい」の御依頼を受けて伺ったお宅で懐かしい生活景色に出会い感動の時間を過ごしました。



生誕地、小学二年が薪を焚き私がお風呂を沸かすお寺の行事で大量のお釜を煮ていたお釜さん。高天に井むき戸の堅牢な飾り階段の梁に力所にありました。希少な歴史遺産です。近々解体予定です。

仏壇に掛けてあった修復された「御本尊軸」「脇本尊軸」には、「釋現如」の御親筆が書かれてありました。これは保管するようにお願い致しました。

南無

「正月のふくら」



忙しなくて遊ばせたくせかた

